

「河川愛護月間」“絵手紙”優秀賞(国土交通事務次官賞)受賞者への表彰状の伝達式を行いました。

三次河川国道事務所
平成27年 2月16日(月)

国土交通省では、毎年7月1日から7月31日までを「河川愛護月間」として様々な行事や広報活動を実施しています。今年度も全国の小学生・中学生・高校生・一般の方々を対象に、「河川愛護月間」“絵手紙”を募集したところ、全国各地から1,136点の作品が寄せられました。審査の結果、絵手紙20点の入賞作品が決定し、三次市立灰塚小学校の森 琉稀(もりりゅうき)さん(6年生)が、優秀賞(国土交通事務次官賞)に選ばれ、三次河川国道事務所において、表彰状の伝達式を行いました。



藤原副所長から森さんへ表彰状の伝達



伝達式終了後 災害対策室にて事務所事業をPR



↑ 森 琉稀さん
のお母様

↑ 森 琉稀さん

↑ 担任の古城先生

優秀賞(国土交通事務次官賞)
三次市灰塚小学校 6年 森 琉稀 さん
平成27年 2月16日

優秀賞（国土交通事務次官賞）

＜小学生高学年の部＞



広島県 三次市立灰塚小学校
6年 森 琉稀

「河川愛護月間」“絵手紙”募集
優秀賞受賞についてのコメント

三次市立灰塚小学校 森 琉稀

毎年、夏休みはママと川遊びに行きます。その時の絵です。
スッポンは、顔がとがっているので、そこを注意してやりました。紙を糊ではる時に、手が糊だらけになり大変だったけど、毎日少しずつ頑張りました。

工夫したところは文章を面白くするところです。僕は、とても気に入っています。

これからも、スッポンが泳げて、僕たちも安心して泳げるように、きれいな川を守っていきたいです。